

選手直前インタビュー
俺の出番だ!!



浅井 康太

(三重/90期)

地元からは(伊藤)裕貴と2人しかいないけど、まずはしっかり気持ちで乗り切りたいと思っています。チャンスはあると思うし、そこに向けてしっかりトレーニングに取り組みたい。次のG1とかにもつながる上積みのある開催にしたいですね。

伊藤 裕貴

(三重/100期)

最近はウエイトトレーニングの効果が出始めたのかなと思います。元々、力でねじ伏せるタイプではないけど、タテ脚で勝負することも考えながら走りたい。松阪は(一昨年の)共同通信社が全然ダメだったので、今回は恥じないレースをしたい。



高橋 晋也 (福島/115期)

全日本選抜②②⑤⑦着、G1大会で初めて準決まで駒を進めた。一次予選、二次予選ともに逃げて粘っていて、先行力を猛アピール。昨年のこの大会は③③②③着と大活躍を演じただけに、今年も注目だ。



山口 拳矢 (岐阜/117期)

スピードの切れ味には素晴らしいものがある。タテ脚だけに頼らず位置を取ってから仕掛けるので大崩れが少ない。3月静岡では3連勝していて調子も良好。初のビッグレースで台風の目と化すか。



黒沢 征治 (埼玉/113期)

今年は1月前橋で3連勝と好スタート。その後も全日本選抜の一次予選は逃げて2着、3月玉野記念 in 広島2②③⑥着でもパワフルな走りを披露した。機動力には磨きがかかる印象なので大暴れが期待できる。

GIRL'S KEIRIN コレクション 2021 松阪ステージ

最終日 (3/28) 9R

梅川風子は2月取手での落車で状態が未知数。高木真備、佐藤水菜が児玉を追う。高木は今年初戦となつた1月取手でのトライアルで決勝5着といきなり不覚を取つたが、以後は3月静岡まで5場所連続で完全優勝。先行、まくりうまく使い分けられているし、絶体絶命の態勢だつた静岡決勝でも勝つたように持ち前のダッシュを生かしたオールラウンダーという理想に着実に前進している。レースの流れに俊敏に反応していれば逆転も。

佐藤は別府トライアル決勝で児玉にねじ伏せられて3着。悔しい結果にリベンジへと燃える。まだ一度も先着すらない児玉の壁は高いが、不安のないデキなら今度こそその期待を抱かせる。直前の2月前橋MNは連日後続をぶつ千切るまでのハードなトレーニングでワンランクアップした豪脚で結果を出したい。

20年7月～12月の期間における平均競走得点トップ7によって争われる今年最初のガールズ特別レース。女王・児玉碧衣が貫禄を示す。3連覇を達成したグランプリの疲れも見せず、年が変わつても児玉は順調そのものだ。17戦で15勝し、2着2回。1月別府でのガールズケイリンコレクショントライアルも快速まくりを決めて文句なしのVを決めている。それでも2着2回に細かい所のミスがある」と一切気を緩めることはない。『グランプリを逃げ切りで優勝すること』が今年の目標なら早めからのスパートで決着を付ける。

新年も突っ走る児玉碧衣



児玉碧衣